

社全協公開学習会 社全協60周年キックオフ企画

# 社全協運動の これからの10年を展望する

2023年、社全協は結成60周年を迎えます。そこで、これまでの社全協運動を振り返りながら、社全協運動のよって立つ「社全協指標」(1985年決定)を読んで感じたことや疑問といったことを、いくつかの立場の方々から発言してもらい、現代的に読み解きます。それをもとにフロアを交えた議論を通して、今後の社全協運動に求められる方向性を探っていきます。ぜひご参加ください。

日時:12月17日(土)14:00~16:30(Zoomによるオンライン開催)

プログラム 司会:古里貴士さん(東海大学)

基調報告1 社全協運動、これからの10年の展望

姉崎洋一さん(社全協委員長/北海道大学名誉教授)

基調報告2 社全協運動はこれまで何に取り組んできたか

上田幸夫さん(日本体育大学)

コメント 社全協指標を読み解く

會澤直也さん(君津市小櫃公民館)

大内諒子さん(三浦市農協職員)

ほか、研究者や非正規雇用の現場職員からのコメントを予定

※事前に次ページの「社全協指標」にお目通しのうえご参加ください。

※学習会終了後、17:00~18:30に下記の企画を開催します。

社全協カフェ「三多摩の社会教育職員が遺した実践から(仮題)」

ZoomのURLやパスコード等は公開学習会と同じです。ご希望の方は続けてご参加ください(社全協カフェのみの参加も可能です)。

申込み:人数管理のため、事前に氏名・所属をお書き添えのうえ、12月15日(木)までに社全協事務所までメールでお申し込みください(定員100名)。

社全協事務所 [japse@nifty.com](mailto:japse@nifty.com)

当日が近くなりましたら、事務局よりZoomのURLなど参加情報をメールでお送りします。メールにあるパスコード等を入力のうえご参加ください。

参加費:無料(どなたでもご参加いただけます)

## わたしたちのめざすもの 社会教育推進全国協議会 指標

私たちは、民衆の自己教育運動の歴史的経験をうけつぎ、権利としての社会教育の実現をめざして、1963年に社会教育推進全国協議会を結成しました。以来、日本国憲法、教育基本法の理念にのっとり、広く国際的な人権保障の視野に立ち、住民・職員・研究者の固い結びつきのなかで活動をつづけてきました。

社会教育の主体は私たち国民です。私たちの、いのちとくらし、人格の発達と文化をめぐる危機がいつそう深まりをみせている現在、私たちは、地域で職場で、さらにひろくゆたかな学習・文化・スポーツ活動の発展をはかるために、ここに指標を定めます。

1. 私たちは、主権者としての、みずからの成長をはかり、人間らしく生きぬく力を育てる社会教育活動の創造と発展につとめます。
2. 私たちは、学校の内外にわたって、子ども・青年のゆたかな発達を支える教育・学習・文化・スポーツ活動をひろめ、教師・父母と手を結び、国民教育の発展をめざします。
3. 私たちは、社会教育の民主的発展を阻害する不当な圧力とたたかい、国民の学習する権利を守るため、地域や職場で仲間の連帯をひろげます。
4. 私たちは、住民と社会教育職員の連帯を強め、ひろく各分野の研究者・専門家との結びつきを深めつつ、相互の力量を高めます。
5. 私たちは、住民にひらかれた施設づくりや職員制度の確立などの諸条件の充実と、社会教育行政の民主化につとめます。
6. 私たちは、全国各地の社会教育活動の交流をはかり、研究を深め、ゆたかな社会教育実践を支える社会教育理論の創造を追及します。
7. 私たちは、つねに国・自治体や財界などの教育・文化・スポーツ政策の動向を注視し、社会教育の自由を阻む動きに反対し、国民による社会教育政策づくりをすすめます。
8. 私たちは、科学・文化・芸術の諸成果に学び、全国各地、さらに国際社会にわたる民主的な諸運動と連携して、生活と権利、平和と民主主義を守り、発展させることをめざします。

(1985年2月10日 決定)

申込み・問合せ：社会教育推進全国協議会  
〒162-0818 東京都新宿区築地町19 小野ビル2階  
TEL・FAX 03-3235-4143 メール [japse@nifty.com](mailto:japse@nifty.com)  
社全協ホームページ <http://japse.main.jp/>